

万一の事態に備えて

総社市洪水ハザードマップ

市では、河川のはん濫や土砂災害に備えて、総社市洪水ハザードマップをつくりました。今回は、このハザードマップの見方や使い方などについて、総務課の山本勉課長に尋ねました。

——洪水ハザードマップには、どのような情報が載っていますか。

山本 このハザードマップは、高梁川やその支流の槇谷川や新本川などははん濫した場合を想定して作りました。想定される浸水の範囲とその深さは、一目で分かるようにカラーで表示をしています。また、大雨が降ったときに土砂災害が発生する可能性がある場所や、各地区の避難場所も併せて掲載しました。さらに、災

害に関する各種の情報も掲載していますので、洪水や災害が起こったときのために、日ごろからの備えとして役立てていただきたいと思います。

——浸水の深さが色分けされているとのことですが、どのように見たら良いのでしょうか。

じて、最も安全な避難行動をとっていただきたいと思います。

——市民の皆さんに何か伝えたいことがありますか。

山本 岡山県が、インターネットで（アドレスは左下の記事のとおり）で、

気象情報や河川の水位などの防災情報をお知らせしています。いざというとき、雨の降り方や河川の水位などの情報を集めやすく便利です。

洪水に対しては、避難場所や情報収集の手段などを事前に確認しておくことで、被害を軽くすることが出来ます。「災害は忘れたころにやってくる」といわれます。

このハザードマップを見ながら、自宅のある地域がどの程度の浸水被害に遭う可能性があるのかといったことを確認しながら、家族や地域の皆さんと災害時の備えや行動について、話し合っていた方がいいと思います。

問い合わせ 総務課行政係（☎8218）

インターネットで防災情報を提供

あらかじめ登録しておくくと便利です。

- 気象情報や観測情報（雨量・河川の水位・潮位・土砂災害危険度情報など）
アドレス〔パソコン・携帯電話共通〕
<http://www.bousai.pref.okayama.jp/bousai>
- 避難勧告や気象警報などの緊急防災情報のメール配信登録用のアドレス
<http://www.bousai.pref.okayama.jp/bousai/mail.jsp>

●総社市国民保護計画●

市では、「総社市国民保護計画」を策定しました。この計画は、大規模なテロや有事（武力攻撃事態）が発生した万一の場合、国民の生命や身体、財産を保護し、国民生活や国民経済に及ぼす影響が最小となるよう、市の役割を定めたものです。市のホームページや、市役所、各支所、各出張所、各公民館でご覧いただけます。

問い合わせ 総務課行政係（☎8218）



総社市洪水ハザードマップは、『広報そうじゃ5月号』と一っしょに配布しています。

浸水が想定される区域を、水深の目安で段階ごとに色分けして表示しています。

山本勉総務課長